



幌尻岳（ポロシリ）－文化的景観解説サインの紹介 1－

幌尻岳（ポロシリ）は日高山脈の最高峰で、日高山脈襟裳国定公園内にあり、貴重な動植物や氷河によって削られたカール地形を見ることができます。また、日本百名山としても有名です。ポロシリはポロシルンカムイ（ポロシリのカムイ）の住む山とされ、祈りの対象でもあります。ポロシリにまつわる言い伝えも残されており、地域のアイヌの精神世界、世界観を理解するうえでは欠かせません。解説サインは幌毛志地区の国道 237 号線から旧道に入ったところに設置されています。国道に案内板がありますので、目印に一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



案内板が目印

（山本 雄）

解説サイン（視点場）

☎ 567 167 640*38



幌尻岳（ポロシリ）の保存・活用等に関する経緯

- ・昭和 39 年（1963 年）深田久弥が『日本百名山』を刊行
- ・昭和 56 年（1981 年）日高山脈襟裳国定公園に指定される
- ・平成 19 年（2007 年）日本の地質 100 選に選定される
（幌尻岳の七つ沼カール）
- ・平成 25 年（2013 年）名勝ピリカノカに幌尻岳（ポロシリ）が指定される

ポロシリについての言い伝え（貫気別 上田トシ氏）

カムイミントラ kamuy mintar（神の庭）はポロシリ porosir（幌尻岳）のところにあると言う。カムイミントラのカムイ kamuy（神様）はクマのことでなくて、目に見えない神様がいるのだと思う。カムイエワクシリ kamuy ewak sir（神様が住んでいる場所）がカムイミントラだ。

（北海道教育庁生涯学習部文化財課編 1998『平成 9 年度アイヌ民族文化財調査報告書（アイヌ民族調査ⅩⅦ）』）

沙流川流域の野鳥たち No.3

カモ目カモ科

観察難易度：★★☆☆

オシドリ

学名：*Aix galericulata* 漢字名：鴛鴦

英語名：Mandarin Duck

アイヌ語名：チライマチリ【cirayma-cir】

大きさ 全長 45 cm ^{よくかいちょう} 翼開長 68 ～ 74 cm

鳴き声 オス“ウィップ”、“ピュイ”、メス“クァツ”、“クィツ”

特徴 オスはとても鮮やかな色で目立つ。派手な冠羽^{かんう}など美しい色彩の羽毛を持つ（派手になるのは繁殖期^{はんしよくき}のみ。それ以外は灰褐色^{はいかつしよく}でメスに似ている）。くちばしは赤い。メスは灰褐色でくちばしは灰黒色^{かいこくしよく}。

オスは、日本一カラフルな水鳥といわれている。

生息環境 広葉樹の森周辺の湖沼やダム湖、河^{かは}畔^{はん}林の豊かな河川など。

行動 夏鳥。北海道で繁殖し、秋に本州（西日本）に南下して越冬する。水辺の木陰を好む。水辺の植物、昆虫を食べる。ドングリもよく食べる。

高さ 10m ぐらいある大木の樹洞^{じゅどう}に巣をつくり、生まれた雛は樹洞から飛び降りる。そしてメス親に連れられて水辺に移動する。



『北海道野鳥図鑑 / 2003』より掲載



日本野鳥の会「野鳥トランプ」より掲載
※野鳥トランプはウトナイ湖サンクチュアリ
ネイチャーセンターにてご購入可能

オシドリはおしどり夫婦じゃないの？

オシドリは、オスとメスがつがいでいるのがよく見られるため、おしどり夫婦といわれます。しかし、オスは子育てに一切関わりません。しかも毎年つがいを変えるそうです。一緒にいるのはメスが卵を生むまでの期間だけです。メスが卵を生むとオスはつがいを解消してオス同士で群れて、さらに他のメスに求愛することもあるそうです。

アイヌ文化との関わり 以下のような言い伝えがあります

- ① ひなを連れていて、鳴き騒いで逃げたのを見たことがあります。でも心引かれて追いかけてはいけません。ひなを一匹でも殺したり、つがいの一羽を殺したりすると7代たたるという恐ろしい鳥。
- ② 昔は春になれば沼や川に来ていました。名前の一部が同じイトウという魚と系統が同じであるといえます。オシドリとイトウはつがいのかたわれだけをとると祟りがあります。そこでつがいを取り、双方に木幣を捧げ、さらにそれをお互いの枕にするようにして置きます。そうすれば大きな幸運に恵まれるのだといえます。

①も②も日高地方の伝承です。 「アイヌと自然デジタル図鑑」より

(久米智江)

平取町立二風谷アイヌ文化博物館 企画展

「アイヌ伝統工芸のわざ～コロナ禍の博物館活動～」



平取町立二風谷アイヌ文化博物館 企画展
アイヌ伝統工芸のわざ
～コロナ禍の博物館活動～

当館では令和3(2021)年度に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で地域のアイヌ工芸品を一括購入しました。これらの新着資料とともに、コロナ禍におけるアイヌ工芸師と博物館活動の協働の姿をご覧いただくために本企画展を開催いたします。皆様のお越しをお待ちしております。

【開催日時】 2022年4月1日(金)～5月22日(日)
9:00～16:30
【休館日】 4月4日(月)、11日(月)
【会場】 平取町立二風谷アイヌ文化博物館伝承サロン
〒055-0101 北海道沙流郡平取町二風谷 55
【料金】 大人 400 円、小・中学生 150 円 (町民無料)
【電話】 01457-2-2892

NIBUTANI
Nibutani Ainu Culture Museum
<http://www.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/nibutani/>
Facebook: 平取町立二風谷アイヌ文化博物館

▲企画展チラシ

新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けた二風谷のアイヌ工芸振興施策として、令和3年度に二風谷民芸組合へアイヌ工芸品の制作を依頼しました。本企画展は一括購入した工芸品を一般公開するために4月1日から5月22日の日程で開催しました。伝統的な手わざによるアイヌ工芸品や、現代のアート作品など、様々な作品を展示し、多くの方々に紹介することができました。当館では今後も平取町のアイヌ工芸振興支援とアイヌ伝統文化の今日的継承のため、地域と博物館の協働を進めていきます。

本企画展では約3千人の皆様に見学してもらい、多くの方にアンケートの協力も頂きました。ご来場、大変ありがとうございました。(黒川佳美)

平取町立二風谷アイヌ文化博物館第28回特別展

「北海道における近代の学校とアイヌ民族 - 沙流川流域を中心に -」(仮称)

北海道の近代化に伴う教育環境の整備とアイヌ民族の主体的な関わりを学ぶための特別展を開催します。アイヌの伝統的な暮らしが移り変わっていく明治期において、地域社会の指導者として活躍した平村ペンリウクや貝澤ウトレントク、川上サノウクラの活動にも焦点を当て、人々が教育にかけた思いが今日どのような形で地域に受けつがれているかを探ります。(廣岡絵美)



▲貝澤ウトレントク
(写真提供: 貝澤徹氏)

【特別展関連講座】

北海道の近代教育とアイヌ民族の関りについて学ぶため、専門家を招聘し、特別展関連講座を行います。明治以降の教育がアイヌ文化の継承活動にもたらした成果や課題を正しく認識する場にもしていきます。

①10月29日(土)13:30～15:30 講師: 北海道大学教育大学 百瀬響氏

②11月12日(土)13:30～15:30 講師: 元小学校教員 平山裕人氏

会場: ①②ともに沙流川歴史館レクチャーホール

*博物館(01457-2-2892)へ要申し込み。詳細が決まりましたら、まちだより・博物館ホームページでお知らせします。

「北海道ダムカード展 in びらとり」

お客様から大変ご好評を頂いている移動展『北海道ダムカード展 in びらとり』も、あと残すところ2会場での開催で終了いたします。現在は【ふれあいセンターびらとり】にて7月24日（日）まで開催し、最後の会場となる【二風谷ダム管理所】へ移動いたします。二風谷ダム管理所では、7月25日（月）から8月5日（金）までの開催となります（土日休館）。

北海道内では、現在43枚のダムカード（公式カード）を集めることができます。（非公式カードも複数枚あり）現地に直接赴かないと手に入らないダムカードはカードコレクターやダム愛好家などから人気を集めています。

沙流川歴史館では、平成22年4月から北海道開発局と連携してダムカードを配布しており、現在は「二風谷ダムカード」と「平取ダムカード（建設中）」をお配りしています。

企画展・移動展で頂いたアンケートを一部紹介いたします。「北海道のダムが一同に集められた企画は今までになく、まだ知らないダムが有り、大変参考になりました。また企画して下さい。（千歳市Iさん）」「恋問の道の駅にあったポスターで企画展のことを知り、来ました。ダムカード好きにはたまらない良い企画だと思います。ダムカレーもいいですね。また、こういう企画あれば来たいです（札幌市Yさん）」「道内のダムカードが展示され、見やすく、マップも見やすい。ダムカレーも情報があって、より興味がわく展示だと思います。実際に集めてみた旅路のライドショーも良かったです。（滝川市Uさん）」「素晴らしい企画です。9時開館にあわせて家を出ました。ダムカレーもたくさん種類がありますね。（旭川市Tさん）」「平取ダムが完成したら、お披露目会や見学会など一般の人も参加できるような、もっとダムを近くで見られるようなことをしてほしいです！ダムLOVE♡（札幌市Uさん）」

皆様もぜひ、会場に足をお運びください。（佐々木知代）



企画展の会場風景



企画展の会場風景



移動展 振内町民センター



移動展
ノカピライウォロビジターセンター



苫小牧市Hさんご家族
快くお写真を撮らせていただきました。



札幌市Uさんご家族
ありがとうございました！



沙流川歴史特別展 「沙流川流域の野鳥たち」



沙流川歴史館では、10月4日（火）から12月4日（日）までの日程で特別展「沙流川流域の野鳥たち」を開催いたします。自然あふれる沙流川流域では、1年を通して様々な野鳥がみられます。遠くの国々から渡ってくる渡り鳥、水辺でくらす鳥、草地でみられる鳥、家のまわりでみられる鳥、夜行性の鳥など、沙流川流域ではどのような鳥がみられるのか写真や模型をつかって展示いたします。



ぜひ可愛い野鳥たちを見にご来館ください。（佐々木知代）



野鳥のお写真はありますか??

野鳥の写真を探しています。ご趣味で撮影した野鳥の写真などで貸出可能な写真（データ）がございましたら、特別展の展示に使用させて頂きたいです。ぜひ沙流川歴史館へご連絡ください。

（問い合わせ）沙流川歴史館 電話 01457-2-4085

アイヌ政策推進交付金事業 ⑤

博物館ではアイヌ政策推進交付金事業の一環として、⑤「博物館等民具撮影業務」を萱野茂二風谷アイヌ資料館で取り進めています。二風谷アイヌ文化博物館と同様に、資料館で展示、保管している資料にも、多くの重要有形民俗文化財（国指定）が含まれています。

文部科学大臣告示によって、国の重要有形民俗文化財「北海道二風谷及び周辺地域のアイヌ生活コレクション」が指定されたのは、平成14年2月12日のことです。

学術的に重要な資料が経年劣化する前に、このように高解像度で撮影することにより質感や細部までありのままに確認することができ、内部資料となる台帳のデジタル化や館外に公開する展示物の図録作成等に応用することができます。

（阿部孝之）



撮影風景（資料館ホール）



民具資料撮影準備（資料館ホール）

アイヌ語を覚えてみよう ⑮

イランカラプテ！（こんにちは！）

今回は、アイヌ語で「私」が何かをする時と、「私たち」が何かをする時の言い方の違い、そして「いただきます」、「乾杯」の表現を紹介します。

「私が食事をする」は、「クイペ」です。

ク イペ

ku= ipe

私が 食事する



「私たち（みんな）が食事する」は、「イペアン」です。

イペ アン

ipe =an

食事する 私たちが



私を表す「ク」が、私たちを表す「アン」に変化することは分かりますが、アンの場合は動詞（イペ）の後ろに付けて言うことになります。誰がやった動作なのかを表す要素（人称（にんしょう）接辞（せつじ））が、「私」と「私たち」では動詞の前に付くか、後ろに付くかが違ってきます。これはアイヌ語特有のとても不思議で面白い現象です。

みんなで食事をはじめたい時にはよく「イペアン ロー」と言います。

これが日本語の「いただきます」にあたります。

イペ アン ロー

ipe =an ro

食事する 私たちが ～しよう



宴会のはじめにはよく「イクアン ロー」と言います。これが「乾杯」にあたります。

イク アン ロー

iku =an ro

酒を飲む 私たちが ～しよう



では最後に問題です。「私が酒を飲む」は、アイヌ語でなんとはいいいでしょうか？（答えは下）

ヤクン パクノ ネ。スイ ウヌカラン ロー！

（それではここまでです。またお会いしましょう！）



開拓財産 ～むかしのどうぐ～

番外編：二風谷青年図書館(2)

青年団とは：「農山漁村を中心に、地域を基盤とする青年集団。各地域において学習・レクリエーション・奉仕など社会教育的な諸活動を展開した。江戸時代の若連中からの流れをくむ。…」

～『北海道大百科事典 上巻』（北海道新聞社 1981）より～ ＊青年団は「青年会」とも呼ばれる

平取管内初の青年会である二風谷青年会は明治 40(1907) 年に発足しました。初代会長は松崎順吉、会員数は 30 名でした。明治から昭和にかけて青年会図書館の設置をはじめとした活動を通して地域に貢献しました（下記の表）。二風谷青年会を筆頭に、大正 9 (1920) 年頃までには平取管内に青年会が 10 団体結成されました。平取村開村五十年史（平取村開村五十周年史編纂委員会 1952）によると、青年会は「やがて、青年団となり、統合されて、各青年団が分団となり、或は支部となり、幾多の変遷を経、一時大日本青少年団^{注1}の中に大きな統御を受けたが、1946 年（昭和 21）後は発展的解消をして、青年本来の使命のもとに再び自主的民主的に各部落^{注2}々々に青年団が結成されている。」と記されています。（廣岡絵美）



（注 1）…第 2 次大戦期の青少年団体の統一組織。

（注 2）…北海道では「集落」に近い意味で使用される。

明治44(1907)年新築の二風谷尋常小学校校舎。左端の人物は二風谷青年会を組織し、青年達に図書館経営を勧めた二風谷小学校初代校長の黒田彦三氏。写真出典：二風谷部落誌編纂委員会(1983)

年 号 等	二風谷青年会の主な活動内容・出来事
明治40(1907)年	黒田彦三、松崎順吉らによって二風谷青年会が組織される。
明治44(1911)年	二風谷尋常小学校建設の際の残り材を用いて青年会図書館を設置する。同校舎新築にあたり二風谷青年会が569円を寄付する。
明治・大正・昭和	神社の祭典、学校の運動会など地域の行事全般を二風谷青年会が中心となっていく。
大正 2 (1913)年	明治40(1907)年以来、夜学の開催、図書館の建設、土木工事、共同耕作、軍人家族罹災者の慰安につとめたことから日高教育会から表彰される。
大正 3 (1914)年	明治44(1911)年に二風谷尋常小学校校舎新築の際に569円を寄付したことから賞勲局(内閣府の内部部局の一つ)より表彰される。
大正 5 (1916)年	二風谷の道路・橋梁・河川の保護・修繕に努めたことから北海道庁より表彰される。
大正 9 (1920)年	ポンオサツに共同風呂を建設する。
昭和11(1936)年	二風谷小学校の校庭に五右衛門風呂を設置し、児童を入浴させる。
昭和16(1941)年	二風谷青年団が二風谷青少年団と改組される。平取村立二風谷国民学校の桜田賢次郎校長が団長となる。青少年団の活動が活発であることから北海道庁より表彰される。

*表は平取村開村五十周年史編纂委員会『平取村開村五十年史』（1952）、二風谷部落誌編纂委員会『二風谷』（1983）、二風谷小学校開校百周年記念協賛会『開校百年記念誌 とんがりぼうし』（1988）に基づいて作成



開拓財産展示施設 見学のご案内



【開館日時】＊変更の場合あり

5～11月の月・水・金曜日（祝日休館） 9：00～12：00

上記以外の日程のご見学についてはお問合せ下さい。

【ご予約・お問合せ】

平取町立二風谷アイヌ文化博物館 ☎01457-2-2892

または

沙流川歴史館 ☎01457-2-4085

平取町立二風谷アイヌ文化博物館

■特別展

『北海道における近代の学校とアイヌ民族
ー沙流川流域を中心にー』（仮称）

期間：10月4日（火）～12月4日（日）

場所：平取町立二風谷アイヌ文化博物館

■特別展講座【2回開催】

第1回：10月29日（土）13:30～15:30

講師：百瀬響氏（北海道教育大学教授）

第2回：11月12日（土）13:30～15:30

講師：平山裕人氏（元小学校教員）

場所：沙流川歴史館レクチャーホール

募集中です!!



特別展で展示するため、町内
で撮影した野鳥の写真を探しています。
お貸しいただける写真（データ）がご
ざいましたら、沙流川歴史館（2-4085）
までご連絡ください。よろしくお願いし
ます。

沙流川歴史館

■企画展移動展

『北海道ダムカード展inびらとり』

期間：7月11日（月）～7月24日（日）

場所：ふれあいセンターびらとり

期間：7月25日（月）～8月5日（金）

場所：二風谷ダム管理所資料室

（土日休館）

■環境省 アクティブ・レンジャー写真展

北の自然の舞台裏 2022ー2023

期日：7月1日（金）～7月26日（火）

場所：沙流川歴史館企画展示室

■特別展

『沙流川流域の野鳥たち』

期間：10月4日（火）～12月4日（日）

場所：沙流川歴史館企画展示室

休館日：毎週月曜日・10月11日（火）

■沙流川歴史館講座

期日：未定（決まり次第お知らせします）

場所：沙流川歴史館レクチャーホール

2022年7月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2022年8月

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

2022年9月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

2022年10月

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

● 歴史館 休館日

■ 歴史館 企画展移動展

■ 博物館 特別展

■ 歴史館 特別展

シシリムカ文化財だより No. 15

2022年7月22日発行

編集・発行／平取町教育委員会文化財課

平取町立二風谷アイヌ文化博物館

北海道沙流郡平取町字二風谷 55

TEL 01457-2-2892

FAX 01457-2-2828

E-mail nah@town.biratori.lg.jp

HP <http://www.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/nibutani/>

アイヌ文化博物館
Facebook 更新中!



沙流川歴史館

北海道沙流郡平取町字二風谷 227-2

TEL 01457-2-4085

FAX 01457-2-4086

E-mail sar.muse@town.biratori.lg.jp

沙流川歴史館
Instagram 更新中!

